

発行 社会福祉法人 豊丘村社会福祉協議会 〒399-3202 豊丘村大字神稻3039番地1 ☎ 0265-35-1122

第1回災害ボランティアセンター 立ち上げ訓練を開催しました



ボランティア作業に向かう場所を決めます（マッチング班）

村内で初開催となる災害ボランティアセンター立ち上げ訓練（豊丘村社会福祉協議会主催、後援・豊丘村）を、八月七日（日）「ゆめあるて」で七十二名の参加を得て実施しました。

は、被災地域に臨時に設置される民営のボランティアセンターで、全国から駆け付けるボランティアの力と、被災した住民のニーズを結び付け、災害復旧・復興支援を行う拠点となるものです。

村内で大規模災害が発生した時を想定して、スマートなボランティアの受け入れ体制を確認するもので、社協職員がセンター側スタッフ、住民の皆さんが出かけけるボランティアとの設定で、訓練を実施しました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

（詳細は次ページ）

お知らせ

福祉まつり

日時：11月13日（日）9:30～14:30

場所：ほほえみ（役場南）

内容：たいけんコーナー

みんなのひろば

介護支援コーナー

あしるこ（無料）

わた菓子（無料）

（詳しくは6面を）

介護用品あげます。

くださいのコーナーへご協力を

福祉まつりの「介護用品あげます・くださいのコーナー」へ物品のご寄付をお願いします。

紙おむつ・パット・下着等

・*介護に使う器具等

※器具は事前にご連絡ください。

お届け先：社会福祉協議会

締め切り：11月10日（木）



開会式

災害ボランティア立ち上げ訓練は、第一部に立ち上げ訓練、第二部に講演会を行いました。

第一部は訓練に参加された皆様にご協力をいただき、ボランティアに参加する側と、ボランティアを受ける側に分かれ、訓練マニュアルに沿った動作確認をしました。参加者を二つに分けて一連の動き（写真①～④）を体験し、最後に緊迫感を出すため全参加者が一度に受付する訓練を行いました。



①受
付↓



②オリエンテーション
(注意説明) ↓



③マッチング→
(作業場所決め)



④物資の貸出

いました。混雑の中での全員による動作確認は、受ける側の応対の難しさを感じました。第二部の講演会では、熊本地震の災害ボランティアに参加されている「高田克彦氏（松本市在住）」を迎えて、第一部での訓練の反省と、今まで体験した災害ボランティアの活動をお話いただきました。

有事に備え、今後定期的にこの訓練を予定しておりますので、これからもご協力をお願いいたします。

- 社協の皆さんのが身につくまで、訓練を頻繁にすべき。
- 地域の中では、こうした訓練は必要と感じた。
- 熊本でのボラ体験が聞けて参考になった。
- 実際に資材、車両を用意して現場への移動・メント・受付設営等、現実に即した訓練も必要。



第二部講演会

豊丘村災害ボランティアセンター 設置運営マニュアルを作成しました。

今回作成したマニュアルは、災害ボランティアセンターの設置から運営までの手続きがまとめられています。別冊で災害時職員マニュアルも作成しました。

2冊を基に職員の防災意識と、災害発生時の対応能力を高めるとともに、地域の皆さんと共に訓練を重ね、大規模災害に備えていきたいと思います。

豊丘村社会福祉協議会

豊丘村災害ボランティアセンター
設置・運営マニュアル



平成28年5月

社会福祉法人 豊丘村社会福祉協議会
豊丘村ボランティアセンター



中学生との福祉交流

ほほえみだより

八月三十一日に豊丘中学校から、二年生十五名が「総合的な学習」で、デイサービスセンターほほえみに来所されました。今年三回目の学習となるこの日は、車椅子やベッドの清掃体験の後、デイご利用者とゲームや手遊びなどで交流を深めました。



体験した一年間の交流の内容や感想は、九月に開催された文化祭（輝丘祭）に展示発表されました。

活動の便り

北村ミニデイ

ミニデイだより

北村ミニデイは、女性のみ十四名のメンバーで、二名ずつ順番にお茶とお茶菓子当番を決めて運営しています。

九月は、お口の健康について、歯科衛生士の松澤京子さんよりお話を聆きました。

「みなさん、お口は元気ですか？」という先生「ここだけは元気だ」と笑いながら口元を抑える参加者。「ご自分の歯は何本ありますか？大人の歯は全部で何本でしょう」すかさず舌で歯を確認していました。なんと、ご自分の歯が全部残っている方が三名も。

先生から、入れ歯のお手入の仕方、唾液を出すマッサー

ジ法、健口体操などを細かく教えていただきました。

「いつまでもお口が元気！ということです。お口のお手入れをしつかり行い、残つている歯を大切に」と話されました。次回の北村ミニデイは、チャレンジミニデイ！参加者の企画で、「アレンジフラワー」を予定しています。



障がいを持つとどうしても家に閉じこもりがちになり「人に迷惑を掛けるから…」「身体が心配だ…」と遠くに出かけたがらないが、「希望の旅」は楽しみにしている一年に一回の旅行です。

七月四・五日と梅雨の最中新潟の寺泊に行って来ました。

寺泊・岬温泉の旅

佐渡島は見えませんでしたがバスを降りた時は一回も雨に遭わず足の不自由な者にとても快適な旅が出来ました。見学したアート美術館（写真）は目の錯覚で「大笑いをしたり」、「びっくりしたり」大変ユニークな建物でした。寺泊で日本海の幸を買い宿で日本海魚を満喫して：お魚ツアーやもありました。

快適なリフト付きバスを用意され体に負担の少ない計画で楽しい旅ができ、大変お世話になりました。（神谷敏彦）



介護者リフレッシュ事業

ミニデイ

八月二十八日（日）十三名の参加で、辰野町「かやぶきの館」にて行いました。



はづらつクラブでは九月二十一日に地震避難訓練を行いました

高齢者クラブ連合会では、八月三十日、会員と一般の方にも呼び掛け八十五名の参加者で、第一回目の「認知症サポート養成講座」を開講しました。

参加者は、年齢で八代の方、ご自身やご家族のために受講する方が多く、熱心に受講をされていました。

講師は、飯田市で認知症力フェ「わたの実」の運営スタッフをされています代田妙子さんで、講話では、「認知症の方は昔の話をする中に、本人の願いが隠れている○優しさやいたわり○仲間に入りたい○役割がほしい○自分らしくしたい

こんな願いをもつて暮らしており、その思いは私たちとなんら変わりなく、出来ないことは増えるけれど、感情は百%生きている。少しの手助けで住み慣れた地域で暮らしていけます。」と話されました。認知症の方と、介護をされている介護者の気持ちを理解解

するサポートさんの※オレンジリングの輪が広がれば、更に温かい村になると感じました。

ご受講いただきのみなさん、ありがとうございました。
（事務局）



オレンジリングを掲げるサポートの皆さん

赤い羽根共同募金のお願い 「あの人を、すべての人を、支えたい。」

赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ。」です。地域福祉の推進を目的としてできた歴史の長い募金活動で、昭和22年スタートから今年70周年を迎えます。

目標額を定めていますが、あくまで任意の募金ですので、趣旨をご理解いただき、募金にご協力いただけたら幸いです。地域で集めた募金は、集めた地域で使われています。「たすけあい・支えあいの地域づくり」のため今年もお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

期 間 平成28年10月1日～12月31日
募金方法 豊丘村では、11月または12月の納税日に合わせて募金をお願い致します。

※オレンジリング
認知症研修を受講した方に、認知症のサポートの印として配布される、オレンジ色の腕輪

（事務局）

生活困窮者自立支援法が昨年度からスタートしました。この制度は、経済的に困っている人、失業している人、引きこもりやニートなど、生活や仕事の悩みを持っている方の支援を行うものです。ひとりで悩まずお気軽にご相談ください。

豊丘村社協
電話 三五一一二二二

お 知 ら せ

くらしの相談

日時／10月26日(水)
／11月28日(月)
場所／林里「はつらつ」
時間：午後7時から9時
12月以降は追ってご連絡します。

生活困窮者自立支援法が昨年度からスタートしました。

いいだ生活・就労支援センター
(愛称 まいさぽ飯田)
電話 四九一八八三〇

飯田市高羽町六一一三

電話 三五一一二二二

会に何かとご協力いただき、感謝申しあげます。六月、七月にお願いしました平成二十八年度の社協会費の納入額をご報告申し上げます。

一般会員費
一、八四〇、〇〇〇円
賛助会員費
二四〇、〇〇〇円
法人会員費
三八九、〇〇〇円
合計
二、四六九、〇〇〇円

皆様からご協力頂いた会費は、福祉事業のために利用させていただきます。

ありがとうございました。



共同募金助成事業（堀越寿生会）

生活・就労支援センター「まいさぽ」をご利用ください

いいだ生活・就労支援センター
(愛称 まいさぽ飯田)
電話 四九一八八三〇

電話 三五一一二二二

社協会費納入のお礼

日頃、豊丘村社会福祉協議会に何かとご協力いただき、感謝申しあげます。六月、七月にお願いしました平成二十八年度の社協会費の納入額を

ご報告申し上げます。

ボランティアセンターだより

No.19

豊丘村ボランティアセンター

豊丘村神籠12462

開館時間：平日午前9時～午後5時

休 館：土・日・祭日

TEL/FAX 35-3327

E-mail : vcenter-toyooka@mis.janis.or.jp

「研修旅行に行って来ました。」

豊丘村ボランティアの会では、9月28日に名古屋方面へ参加者32名で研修旅行に行って来ました。

台風と秋雨前線の影響で朝からぐずついたお天気でしたが、熱田神宮・名古屋港水族館・名古屋港防災センターなどを見学してきました。防災センターでは地震・台風・津波などの自然災害の恐ろしさや、火災発生状況の中での煙から非難する方法などを体験しました。いざというときに備え、何をすべきか学ぶことができました。



熱田神宮にて

サロン紹介 ~サロン林里~



皆で手芸品づくり

サロン林里は南小学校プールの北側にある民家を借りて4年前にスタートしました。

毎週水曜日の9時半から2時間ほど開いています。毎回村内の有志のボランティアさん達と高齢者の皆さんのが20人ほど集まって楽しい時間を過ごしています。

11月12・13日に行われる「とよおかまつり」では毎年テントを借りてお客様たちに休憩場所を提供し、お茶や漬物などでもてなしてくれます。今年も手作りのポプリや手芸品を販売します。是非、気楽にお立ち寄りください。

「災害ボランティアセンター」のアンケート結果より

8月7日に開催された災害ボランティアセンター立ち上げ訓練（1～2面掲載）の参加者の皆さんに災害ボランティアセンターについてどのくらいの方がご存じだったかお聞きしてみました。

◎ 「災害ボランティアセンター」という言葉を知っていましたか？

・よく知っている…26% ・名前だけは聞いたことがある…65% ・知らない…10%

◎ 「災害ボランティアセンター」の内容や役割について知っていましたか？

・知っている…13% ・だいたい知っている…39% ・知らなかつた…48%

これから多くの村民の皆様にご理解・ご協力いただけますよう、訓練を重ねてまいりたいと思いますのでよろしくお願ひ申し上げます。

平成
28 年度 とよおかまつり共催

福 祉 ま つ り

11 / 13 (日)

(とよおかまつり 2日目)

9 : 30 ~ 14 : 30

デイサービスセンター

ほ ほ え み

体験コーナー

- 車いす体験
- ゲーム体験
フライングディスク ほか
- お菓子のつかみどり
小学生以下のお子さま

みんなの広場

- 牛乳パック工作
かわいいかごを作ります
- 展示
災害ボランティアセンター
立ち上げ訓練のようす
ミニディ「シルバー川柳」

介護者支援

- 介護用品
あげます！ください！
オムツなど数に限りが
あります。お早目に。
- 介護用品展示販売
(介護のかふね)
- 介護相談

無料サービス

- おしるこ
今年もやります！
限定 150 食！！
- わた菓子

豊丘村社会福祉協議会

〒399-3202 豊丘村神稻 3039 番地 1

TEL:35-1122 FAX: 35-1123



社協報「ほほえみ」は、共同募金の配分金で発行されています。